



茨城県同窓会会報 常陸7号

平成15年11月22日

駒澤大学茨城県同窓会の皆様におかれましては、御活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、同窓会活動の御支援と御理解を頂きまして、心より感謝申し上げます。

駒澤大学茨城県同窓会は、平成9年に土浦市で第一回設立総会を開催しまして、早くも6年が過ぎ、本年5月の美野里にて第四回目の総会を迎えることが出来ました。その間、会報「常陸」の6号の発行、会員名簿の作成、総会時における文化講演会や地元市民への公開講座、又、各地区においては新年交流会、家族で参加できるキャンプ、大洗での地引網等の役に立つ情報と楽しめる企画を柱に活動して参りました。又、母校「駒澤大学120周年記念事業」への協力や、各種学生のクラブ・サークル団体への側面からの支援を行なって参りました。

しかしながら、経済を取り巻く厳しい状況や市町村合併の動きなど世の中の大きな流れの影響もあり、当初5つの地域ブロック（県北・県央・県南・県西・鹿行地区）を中心とした運営を予定しておりましたが、会員が増えず思った通りに運営できなくて支障をきたしております。もちろん、私達役員の方の力不足や同窓会への魅力など、他にも理由はあると思います。6年前、3500名の卒業生の内、約700名（会費納入者）の加入があり、全国の同窓会の中でも有数の参加を誇っておりましたが、現在、100名を切る事態となってしまいました。又、第一回設立総会では250名の参加がありましたが、今年の第四回総会では50名を切る規模となってしまいました。財政的にも、会費の未納入など非常に苦しい運営が続いております。卒業年次の若いOBの参加が少ないのも課題の一つです。

この様な現状ではございますが、先日の10月の役員会では、創業の理念である、楽しく、有意義な会として永続・発展させることを役員一同確認いたしました。この現状を素直に会員の皆様に訴えて、お力をお借りして原点に戻って出来ることから始める決意を新たに致しました。

同窓会の運営は、ボランティア精神の上に民主的に行なわれております。どうぞ皆様、会員への再登録や、会費の納入、ご意見・アイデアなど、お申し出をお待ちしております。

ご支援、御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

駒澤大学茨城県同窓
会長 竹内 昌信
事務局長 荻沼 雅光
役員一同

第四回同窓会総会報告

晴天に恵まれました5月24日、竹内会長の地元美野里町・四季文化館「みの〜れ」に於きまして、2年ぶりに第4回同窓会総会が行われました。大学を代表して林達也・図書館長と同窓会事務局・佐藤課長のご来賓をいただき、駒沢大学の今の様子とこれからのビジョンについて詳しくお話を頂きました。

公開講演会では、元日本ハムファイターズの広瀬哲郎氏に「人生GUTUSダ！」という演題で高校から駒沢大学野球部へ、ノンプロ・本田技研からプロ野球の世界までのいろいろな体験と、そこで自分がどう考え、行動して壁を突破してきたかを、ユーモアたっぷりと熱く語ってくれました。



又、三遊亭貴楽師匠（S53卒）が急遽駆け付けて下さり、お二人で面白いトークショーをしていただき、会場は笑いに包まれて大いに盛り上がりました。

懇親会場は和室ということが幸いし、お互い卒業生同志ゆっくりと膝を交えて楽しいひと時を過ごすことができました。大変有意義な楽しい会になりました。

